

有機質資材の肥効見える化アプリ

○有機質資材施用による減肥可能量を施肥前に予測でき、適切な施肥設計に活用可能。

- ・持続可能な環境調和型農業への貢献： 有機質資材の活用による炭素蓄積、化学肥料使用量低減
- ・生産者に与える影響： 科学的根拠に基づく施肥設計、肥料コストの削減

有機質資材について

- 家畜ふん堆肥、緑肥、植物油かす等の有機質資材は、養分供給や土づくりに効果があり、有機・減肥栽培や循環型農業の実現には欠かせない資材
- 肥効は地温などの土壌条件の影響を受けて変動するため、予測が難しいことが利用上の課題

有機質資材の肥効見える化アプリ

- 簡単な入力作業だけで資材の窒素肥効を予測
- 資材の分解しやすさの特性値と地温などの環境データを用いて計算
- 対象の資材は、家畜ふん堆肥（牛ふん、豚ふん、鶏ふん）、市販資材（植物油かす、魚粕、骨粉、米ぬか）、緑肥（イネ科2種、マメ科2種、アブラナ科、キク科）



数理モデルにより予測しアプリで見える化

●実際の入力画面



- ①圃場の位置を選択
- ②資材の種類を選択
- ③施用量を入力
- ④施用日・収穫日を入力
- 窒素肥効を提示

引用：「有機質資材の肥効予測標準作業手順書－窒素版－（農研機構2022）」

詳細情報

- 有機質資材の肥効見える化アプリ

<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/main/organic-fertilizer>

- 農研機構プレスリリース 2021年5月21日：

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/140562.html

出典：農研機構